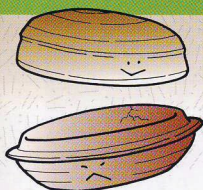


ひょうごの遺跡

兵庫県立考古博物館



〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中500
TEL.079-437-5589 FAX.079-437-5599

<http://www.hyogo-koukohaku.jp/>

平成21年(2009)

71号

3月31日
発行

企画展 兵庫県発掘調査速報2008

兵庫県立考古博物館は県内で埋蔵文化財の発掘調査を行っています。このたび、発掘調査の成果をいち早く公開するため企画展「兵庫県発掘調査速報2008」を開催します。

今回の『ひょうごの遺跡』では、展覧会で展示した遺跡のうち11遺跡を紹介します。展示とあわせて兵庫県の最新の考古学をお楽しみください。

いけだ
池田古墳

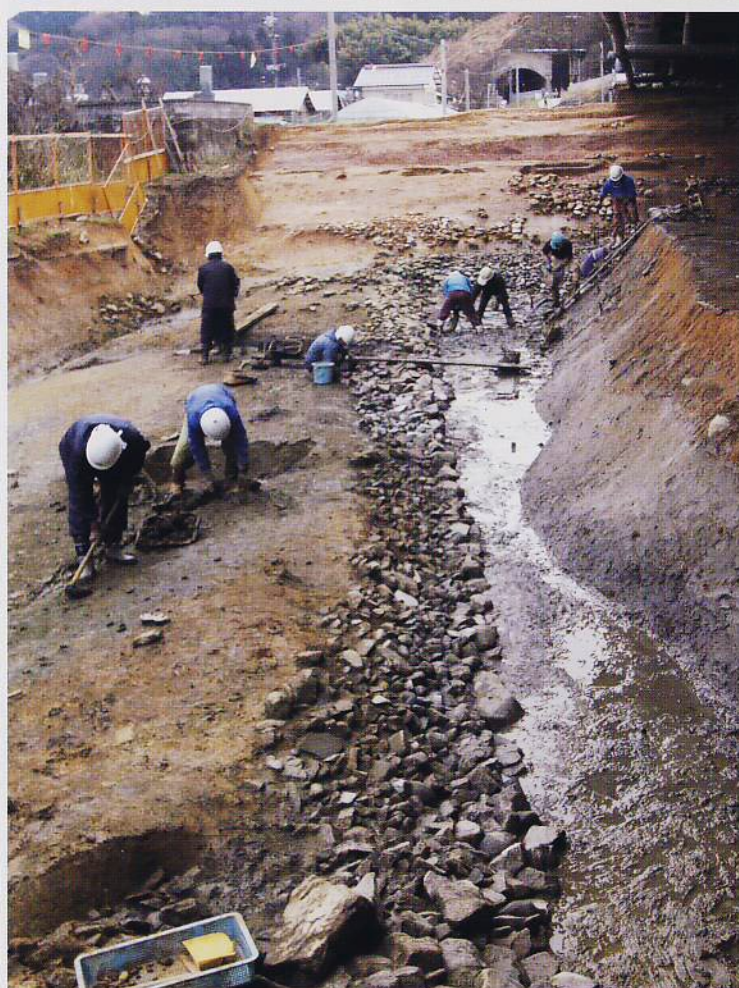
朝来市和田山町平野



空から見た池田古墳



東側渡土堤



西側渡土堤の調査

池田古墳は、県下で4番目、但馬地域では最大の全長約141m、周囲の濠を巡らした大型の前方後円墳です。古墳の築造時期は5世紀前半と考えられ、若水古墳、城ノ山古墳に続く但馬の王墓です。今回の調査では2つの成果を得ることができました。

ひとつは、渡土堤の全容が明らかになった点です。渡土堤全体を調査した例は国内初めてになります。調査成果から、通路としての役割のほかに、濠の水量調節や古墳の裾に水際を用意する役割があったと考えられます。



墳丘に並べられた円筒埴輪



出土した水鳥形埴輪

もうひとつは、渡土堤で区画された濠の様相が東西で異なることが明らかにできたことです。墳丘東側の区画では、水際に水鳥形埴輪を並べた空間が創出されています。墳丘西側では形象埴輪は出土せず、木樋などの木製品が出土しており、導水施設を設けた祭祀の場が創出されていたものと思われます。このような場の創出は、なぜ古墳の周囲に濠が設けられたかや、古墳時代の死後の世界観までを類推させます。

おお いけ

みなみ

大池の南遺跡

三田市西山



護岸を持つ堀跡

今回の調査地点は、戦後吉田茂の側近として有名な白洲次郎の祖父であり、幕末の三田藩政を担った白洲退蔵の屋敷跡であったとされる場所にあたります。調査の結果、江戸時代の屋敷境を示す南北の溝の東側で柱穴や木桶、丹波焼の埋甕、井戸などが見つかり、この場所が武家屋敷の跡と推定されます。南西隅では、木杭と竹を組み合わせた護岸を持つ堀跡と思われる落ち込みが見つかりました。堀跡や屋敷跡からは、丹波焼の甕や徳利、三田青磁の皿などの地元産の焼物、肥前系、瀬戸系、京都系などの焼物のほか、かんざし・包丁、下駄・しゃもじ・墨書の板なども見つかりました。その他、遺跡からは、奈良時代の土坑、中世前半の掘立柱建物や墓、三田高等女学校の校舎基礎なども見つかりました。



調査風景

加古川の東側に広がる丘陵に刻まれた谷には、古墳時代から平安時代にかけて須恵器の窯が数多く作られていました。県立加古川病院建設に先立ち平成17年度に調査した「神野大林窯跡群」では古墳時代後期（5世紀末～7世紀初頭頃）の須恵器の窯跡が3基見つっています。

神野北山遺跡の調査では、この神野大林窯跡の操業が最も盛んであった6世紀後半頃の土器が出土しており、その時代の集落の一部が発見されました。

遺跡の北側の中ノ池からも同時代の須恵器が採集されており、この谷にも窯が築かれていたようです。両方の窯跡にはさまれた丘陵の上は須恵器を生産していた工房や、工人たちの生活していた場所であったことがわかりました。

津万井近世窯跡

西脇市黒田庄町津万井



今回の発掘調査は、西脇北バイパスの建設に伴い実施しました。調査の結果、地元では全く知られていなかった江戸時代末（19世紀前半から半ば）の窯跡が見つかりました。江戸時代の窯跡の調査例は少なく、今回の発見は江戸時代の窯業を考える上で貴重なものとなりました。

見つかった窯は連房式登窯と呼ばれるもので、全長約10m、幅約4mの大きさです。燃烧室が一番低いところにあり、そこから焼成室が階段状に5つ連なっています。

窯跡の東にあったモノハラ（窯の操業時にでたゴミなどを捨てる場所）からは窯の構築に使われた粘土ブロック、窯詰めに使われたや匣鉢さやばちやトチン類、素焼の破片、壊れた製品の破片が大量に出土しました。

見つかった窯跡

つ ま 津万遺跡群

西脇市津万 他



円形竪穴住居跡

西脇北バイパスの建設に伴い、南北約850mにわたる道路部分の発掘調査を行いました。

弥生時代後期末の集落跡をはじめ、奈良時代から中世の掘立柱建物跡、木棺墓、溝、土坑、柱穴、水田跡などが見つかりました。

弥生時代後期末の集落は、南北約250mの範囲に、11軒の円形住居跡と数軒の方形住居跡が建てられており、円形住居跡の多くが火災にあった焼失住居でした。

奈良時代では、掘立柱建物跡が6棟確認されたほか、地名である「妻（津万・都万）」と書かれた墨書土器や、役人の

文房具である円面硯えんめんけんやベルトの装飾具である石帯せきたい（丸鞆）が出土しました。昨年度の調査でも周辺から墨書土器や祭祀に用いる馬形が出土しており、古代の役所に関係した遺跡である可能性が強まりました。

だいもん はた せ

大門畑瀬遺跡

西脇市黒田庄町大門



調査風景

加古川右岸の堤防に隣接する遺跡で弥生時代から奈良時代にかけての集落です。弥生時代中期後半（約2000年前）の環濠集落で、円形竪穴住居跡が確認されています。古墳時代は竈かまどを作り付けた方形竪穴住居跡と掘立柱建物を調査しました。奈良時代は掘立柱建物・井戸・土坑・炉跡が確認されています。奈良時代までには、加古川の流れが、現在の場所に近いものになり、加古川の舟運を利用した港の倉庫機能を有した遺跡になったと考えられます。

いいだ 飯田遺跡

姫路市飯田



調査風景

飯田遺跡は船場川流域遺跡群のひとつで、船場川右岸にある弥生時代末から古墳時代初頭の集落跡です。北西には隣接して長越遺跡があります。今年度の調査では庄内期の竪穴住居跡と旧河道を検出しました。竪穴住居跡は12棟以上存在します。焼けた住居跡からは、カベに使われたと考えられる木材が見つかりました。旧河道の中からは多量の古式土師器が出土しました。な

かでも細いタタキ目を施した庄内式土器の出土が注目されます。かつて調査した長越遺跡で見つかった大溝の続きにあたると考えられます。

いちのごう

市之郷廃寺・市之郷遺跡

姫路市市之郷



仏堂跡

市之郷廃寺は飛鳥時代後半（7世紀後葉）から平安時代初期（9世紀中葉）まで存在した寺院とされており、塔の心柱礎石が移設されて残っています。市之郷廃寺の中心部分を調査した結果、仏堂跡が発見されました。検出した仏堂跡は東西20m、南北16m、高さ60cmで、礎石も残っていました。同時に、奈良時代の落瓦の集積や、周辺から棟端飾りの「鴟尾」片や塔の先端飾りの「水煙」片も出土しました。また、仏堂跡周辺の数か所で梵鐘を铸造した跡が発見されました。出土し

た撞座の文様から中世末頃（16世紀前後）と推定され、姫路の野里鋳物師が製作していたと思われます。

なお、弥生時代～古墳時代の竪穴住居跡も多数見つかりました。

いがき 井垣城跡

養父市浅野



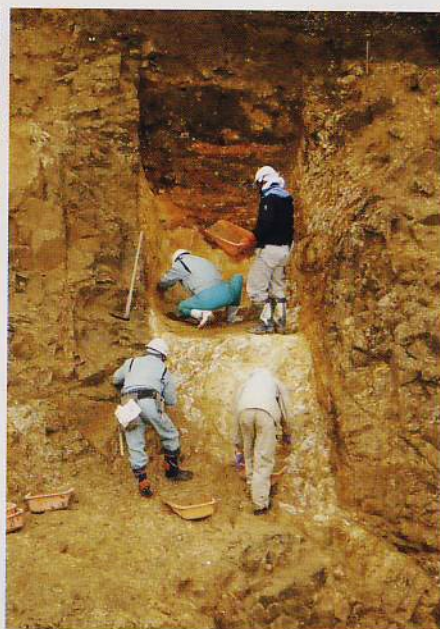
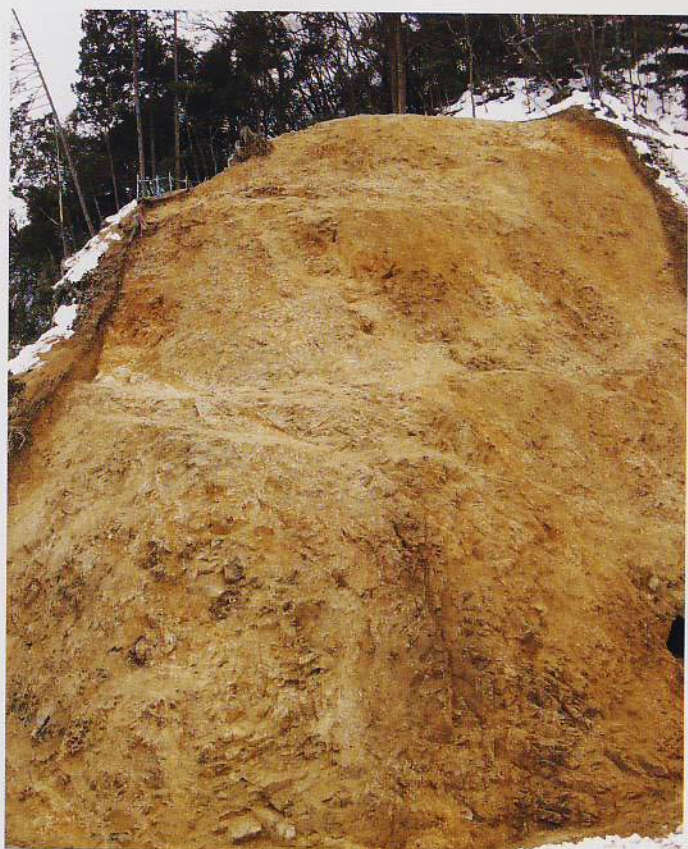
井垣城跡は、標高128mの山頂に築城された戦国時代末期の中世山城です。単郭の小規模な山城ですが、厳重な防御施設が構築され発達した縄張りを持ちます。特に土塁や虎口が構築され主郭の周辺は厳重に守られています。今回の調査では東側の尾根稜線を守る二重の帯郭と6箇所の小平坦地が検出されました。このうち小平坦地は山城の末端にまで構築され、当城の防御の厳重さが窺えます。出土遺物には青磁碗・瓦質搗鉢・土師器

調査風景 皿などがあります。この

ほか、山城の下層からは弥生時代末の木棺3基と土器棺1基が検出され、丘陵中腹の平坦地からは近世後期の大型礎石建物が検出されています。

とりい 鳥居城跡

豊岡市出石町鳥居



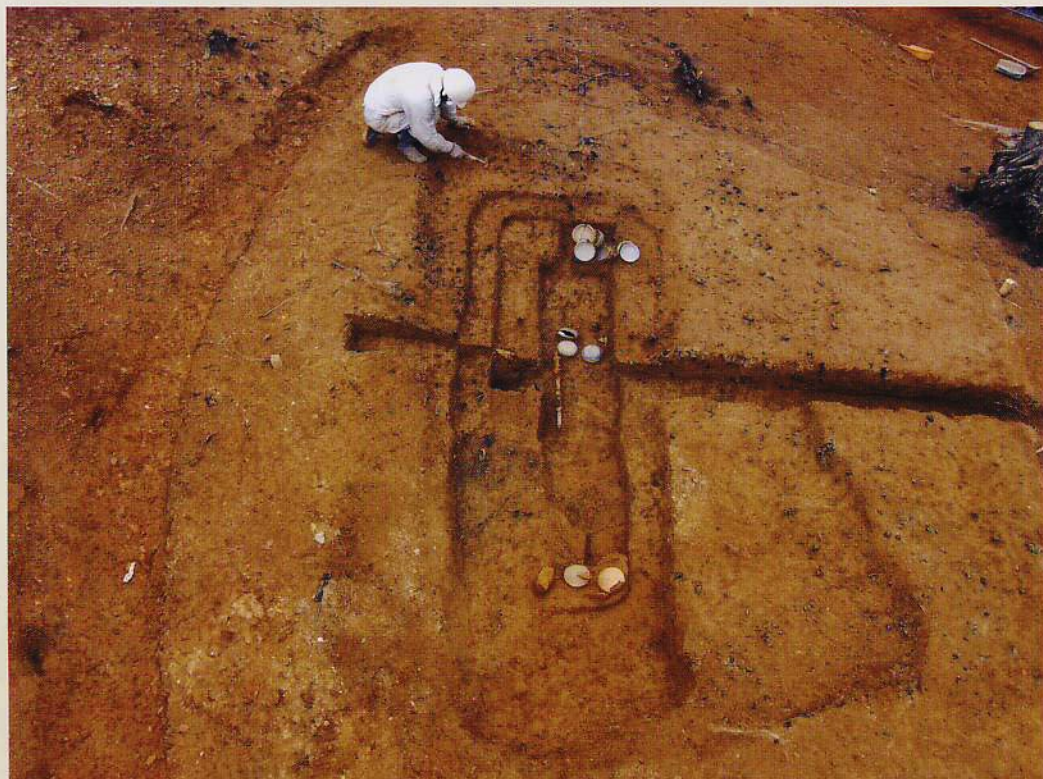
竪堀

鳥居城は出石川西側、標高45mの丘陵上にある戦国時代末期の山城で、山名^{やまな}祐豊^{すけとよ}が築城した有子山城を守る支城の1つと推定されます。調査では城北東部の郭と岩盤を掘り込んだ竪堀が見つかりました。また郭から多量の土^は師^し器^き皿^{びん}が出土し、

城に兵士が常駐し

ていたことを物語ります。郭からは川筋や街道を眺望できることから、豊岡・日高方面から出石に入るルートの監視・防御を担っていたと考えます。

郭の様子



2号墳調査風景

古墳時代前期・後期の古墳が3基（1号墳～3号墳）見つかりました。このうち2号墳は南北9.6m、東西5.2mの平坦面が造り出され、山側には弧状の溝が廻らされていました。埋葬施設は木棺と考えられ、蓋杯や高杯などの須恵器22点や刀・斧・鏃などの鉄製品が副葬されていました。出土した遺物から7世紀前半の古墳であると考えられます。須恵器蓋杯は、棺内では蓋身セットで、北側では蓋身とも内面を上に向けて、南側では蓋身とも内面を下に向けて置かれていました。この配置の仕

方には呪術的な意味があったのでしょうか。山谷2号墳は、北但馬のなかでも最も新しい時期の木棺直葬墳と考えられ、この地域における墓制の変遷を考える上で重要な資料となるものです。

掲載した遺跡の位置

No.	遺 跡 名	所 在 地
1	池田古墳	朝来市和田山町平野
2	大池ノ南遺跡	三田市西山
3	神野北山遺跡	加古川市神野町
4	津万井近世窯跡	西脇市黒田庄町津万井
5	津万遺跡群	西脇市嶋 他
6	大門畑瀬遺跡	西脇市黒田庄町大門
7	飯田遺跡	姫路市飯田
8	市之郷廃寺・市之郷遺跡	姫路市市之郷
9	井垣城跡	養父市浅野
10	鳥居城跡	豊岡市出石町鳥居
11	山谷墳墓群	香美町香住区



編集後記

ひょうごの遺跡71号をお届けします。今回は企画展「兵庫県発掘調査速報2008」に合わせた内容となっています。毎年、それぞれの遺跡で新たな発見があり、兵庫県の歴史にとって貴重な発掘成果となっています。これからも考古博物館では速報展示を行っていきますので、新たな発見にご期待ください。